

1999年度
ボーカスカウト渋谷地区大会

班対抗選手権

(実施期間 1999.10.16 ~ 2000.2.20)

および

地区ラリー

(2000.2.20 実施)

報告書

ボーカスカウト渋谷地区 B S 部門
2000.3.2

ボーイスカウト渋谷地区大会 地区ラリー実施要項

目的 : 地区内スカウトの技能向上と友好親善
 テーマ : 「班のチームワーク」・「防災」
 期日 : 2000年2月20日(日)
 集合 9:00 旧渋谷小学校体育館
 (渋谷1丁目、明治通から見て児童会館の先、正式名称はケアコミュニティ
 美竹の丘1Fホール、03-3486-4594)
 解散 16:00 同
 場所 : 渋谷区内(宮下公園、神宮通公園、代々木公園周辺)
 内容 : 区内のチェックポイントを班ごとに回り、得点を競う
 携行品 : ハイキング用品、地区ネッカチーフ、弁当、水筒
 使用地形図: 1/10000 渋谷、新宿
 対象 : 班対抗選手権にエントリーした班の渋谷地区のボーイスカウトおよび指導者
 参加班 : 16班(予定)
 参加費 : 1人 500円(予定)
 主催 : ボーイスカウト渋谷地区協議会 共催 : 渋谷区教育委員会

参加班

No.	団	班名	参加人数			スタート・ゴール			
			選手権登録	参加申込	ラリー参加者	Start順**	Start時間	Goal時間	増減min.
1	1	ホーカス	9	9	8	1-3	9:50	12:52	+ 22
2	3	モンキー	5	4	3	3-4	9:54	12:25	- 09
3	5	トキ	15	6	2	4-6	9:56	12:58	+ 22
4	5	オオルリ	13	6	3	4-7	9:56	12:32	- 04
5	5	ヤマセミ	13	4	3	5-4	9:58	12:49	+ 11
6	5	ヤマバト	13	6	3	5-3	9:58	12:36	- 02
7	9	シャーク	5	4	4	3-3	9:54	13:04	+ 30
8	9	ワニ	5	5	3	1-4	9:50	12:35	+ 05
9	13	ワシ	*6	4	3	7-4	10:02	12:50	+ 08
10	13	トラ	*5	4	2	-	-	-	
11	14	トナカイ	7	5	2	2-6	9:52	12:52	+ 20
12	14	フクロウ	6	5	2	2-7	9:52	12:47	+ 15
13	6	タカ	5	4	3	6-7	10:00	12:54	+ 14
14	6	ライオン	5	4	3	6-6	10:00	12:45	+ 05
15	10	ウィリーキャッツ	6	5	3	7-3	10:02	12:42	± 00
16	10	ストロベリー フィールズ	4	0	0	-	-	-	
小計			122	75	47	14班			

*上進前のデータ **1-3 はスタート順 1番、最初 3 ポイント

地区ラリー参加者

団	班名	氏名	学年	級別
1	ホークス (8名)	神村 正洋	中2	2
		田中 康夫	中2	2
		並木 遼	中2	2
		藤江 巧真	小6	初
		田中 和夫	小5	初
		磯部 和紀	小5	初
		角南 辰明	小5	初
		花淵 裕一	小5	初
3	モンキー (3名)	鈴木 清詞	中1	2
		宮下 源	小5	ス
		竹村 一貴	小5	ス
5	トキ (2名)	込山 聰	小6	初
		田中 寧	小5	初
	オオルリ (3名)	谷口 尚	中1	2
		清水 智大	小6	初
		浅野 瑛太	小5	初
	ヤマセミ (3名)	尾身 禅介	小6	初
		中井 宏輔	小5	初
		木下 一史	小5	初
	ヤマバト (3名)	関戸 徹平	小6	初
		米沢 瑛人	小5	ス
		岩崎 健	小5	ス
6	タカ (3名)	白根 達彦	中1	2
		奥村 綱太	小6	初
		高橋 桂	小5	ス
	ライオン (3名)	高橋 洋平	中1	2
		三好 辰典	小5	ス
		小茂鳥 州晃	小5	ス
9	シャーク (4名)	吉岡 遊	小6	2
		国友 夏彦	小6	初
		平山 雄人	小6	初
		川合 大地	小5	初
	ワニ (3名)	松下 達也	小6	2
		大塚 慶太	小6	初
		渡辺 章二	小6	初
10	ウィリーキャ ツツ (3名)	中島 亮輔	中1	2
		月本 圭馬	中1	2
		清滝 智哉	小6	初
	ワシ (5名)	坂本 祐太	中1	2
13		藤田 光藍	中1	1
		藤江 陽平	小6	初
		岩崎 保貴	小6	初
		勝田 英城	中1	初
トナカイ (2名)	栗原 将光	中2	2	
14		朴 相王文	小6	初
フクロウ (2名)	松本 健	小6	初	
	宮田 雄二	小6	初	

団	役職	氏名
14	地区コミ	安海 将広
5	B S副コミ	木下 順二
1	野営行事委員長	秋澤 正俊
1	団委員長	花淵 修一
3	隊長	酒井 祐
	副長補	蒔田 典真
	V S	浅井 陽介
	V S	蒔田 昇齊
	V S	牧野 好宏
5	隊長	杉山 雄一
	隊長	佐竹 宣彦
	副長	小谷野 洋一
	副長	鈴木 樹
	副長	戸張 修
	副長補	柏木 昭紀
	副長	山田 幸平
	副長	鈴木 伸典
	6 隊長	石井 義明
9	隊長	武田 尚雄
	副長	吉田 剛貴
	V S	高橋 総一郎
10	副長補	平賀 育英
	副長補	近藤 崇人
	副長補	北原 康司
	V S	鹿浜 洋佑
13	隊長	長谷川日出夫
	副長補	井口 滋仁
14	副長	福嶋 章義
	副長	只野 太一
	副長補	池田 洋一
	R S	三反田 大輔

スカウト 47名(14班)

指導者 25名

ベンチャー5名

地区役員 1名

計 78名

指導者役務分担

(*印委員長または責任者)

指導者役務分担

プログラム部門 企画委員長 : *蒔田(3)、井口(13)、木下(5)

セレモニー・スタート : *近藤(10)、鹿浜(10VS)

1 「伝える」 : *井口(13)、長谷川(13)

2 「水を得る」 : *只野(14)、武田(9)、高橋(9VS)

3 「救急」 : *蒔田(3)、蒔田(3VS)、浅井(3VS)

4 「冷静な判断」 : *柏木(5)、佐竹(5)、鈴木樹(5)

5 「ロープワーク・手旗」 : *池田(14)、福嶋(14)、三反田(14)

6 「地図とコンパス」 : *吉田(9)、戸張(5)、山田(5)、鈴木伸(5)

7 「キムス」 : *平賀(10)、北原(10)

ゴール : *近藤(10)、鹿浜(10VS)

8 「防災クイズ」 : *木下(5)、近藤(10)、鹿浜(10VS)

「友情・チームワーク」 : *安海(14)、酒井(3)、牧野(3VS)

業務部門

本部 : 秋澤(1)、木下(5)、安海(14)、石井(6)、杉山(5)
小谷野(5)、近藤(10)、鹿浜(10VS)

受付 : 秋澤(1)

備品(地区) : *只野(14)、安海(14)

輸送 : 安海(14)、杉山(5)

事故対応 : *杉山(5)、秋澤(1)、小谷野(5)

健康安全 : *安海(14)、石井(6)

記録(写真) : 花淵(1)

ワッペン : *長谷川(13)

賞品・表彰 : *平賀(10)、只野(14)、近藤(10)

評価基準 : *柏木(5)、藤田(14)

会計 : 木下(5)

安全面・非常時の対応

集合時 名簿の作成、天候の判断

出発時 諸注意、命のつな配布

非常時 命のつなを開き 4 C P 柏木(090-8175-2680)に電話連絡

柏木より本部・杉山(090-3086-1102)に連絡

事故対応 (*杉山、秋澤) および健康安全 (*安海、石井) が対応

平常時 事故対応、健康安全、記録担当者が適宜ポイントを巡回

ポイント担当者は通過状況を適宜本部に報告

終了時 14:20までに到着しない班は事故対応担当者を中心に捜索

全体備品

- ・国旗、地区旗(安海)
- ・文房具・・・特にマジック(安海) 模造紙、定規(木下) 計算用紙、新聞紙
- ・カメラ、フィルム(木下)
- ・受付用名簿用紙(木下)
- ・スカウト配布用・・・集成地図、指令書、採点記録表、アンケート(以上木下) 命のつな(柏木)
- ・賞品・参加賞・・・1位賞品(平賀) 賞状(只野) 班名図鑑(木下) ワッペン(長谷川)

詳細プログラム

スケジュール

2 / 20 (日)

- 8 : 30 スタッフ集合（旧渋谷小学校）打ち合わせ、時計合わせ
8 : 45 受付開始（ポイント担当以外、名簿・報告書チェック）
9 : 00 集合・荷物整頓
　　スタッフ会議（悪天候への対応）
　　セレモニー準備（国旗等）
　　ポイント準備開始・移動（*安海・2, 7 ポイントは車、他は徒歩）
9 : 20 開会セレモニー（*近藤）
　　（整列、国旗儀礼、連盟歌、石井地区副委員長の話、木下副コミの話）
9 : 40 説明・諸注意（*近藤）・・・指令配布、スタート順発表
9 : 50 スタート開始（*近藤）
　　2分間隔で2班ずつ。受付順で異なる団同士組合せ。
最初の目的地は3, 4, 6, 7へ割り振る。
　　1 - 3 (1番スタート3ポイントから), 1 - 4 (9:40)
　　2 - 6, 2 - 7 (9:42)
　　3 - 3, 3 - 4 (9:44)
　　以下同様、8 - 6, 8 - 7まで、以後回る順序は自由。
時間待ちの班：友情ゲーム用名札作り（*酒井）
10 : 04 最終スタート
　　ラリー時間2時間40分
　　スタッフによる巡回（*安海）点数集計（*杉山）
12 : 30 始発グループ帰着予定
12 : 15 ~ 30 各ポイント（3以外）終了、ポイント回収（？）
12 : 44 最終グループ帰着予定、3ポイント終了
　　時間待ちの班：アンケート、友情ゲーム用名札作り（*酒井）
昼食（～13:30）
午後プログラム準備（13:00頃、*木下、*安海）
13 : 30 第8ポイント課題（*木下）
14 : 00 友情ゲーム（*安海）
　　得点集計（*近藤）表彰状・成績表作成
15 : 00 清掃
15 : 10 表彰・閉会式（*近藤）
　　（整列、講評（*安海）結果発表（*蒔田）賞品授与（石井）・祝福、
国旗儀礼、歌、解散）
15 : 30 終了・参加賞配布（ワッペン、班名図鑑）

コメント

- ・この日、大雪の予報だったため、当日になってキャンセルするスカウトが続出し、参加予定数は75名だったのに実際の参加者が47名にとどまったのは残念だった。
- ・集合時の天候は小雨で、体育館の中で行う案も検討したが、全指導者の話し合いで、予定どおりのコース、ただし時間を12:30までとし、昼食は体育館でとることになった。
- ・話し合いでスタートも遅れたため、ラリー時間は正味2時間40分となった。最初の予定は昼食をはさんで3時間50分だったので、30分以上短くなった。
- ・スタッフはほぼ予定どおり集まったが、ポイントリーダーは寒くて大変だった。途中雨がかなり強く、みぞれも降った。
- ・傘をさしているスカウトが多かった。ハイキングであれば、もう少し活動しやすい格好が良いのではないか。
- ・全てのポイントを回った班はなかった。6ポイントが最高であった。
- ・スカウトはそんなに疲れなかつたようである。予定変更は正解だった。

各ポイント概要と評価

第1，5ポイントは第6ポイントにて指示。第2ポイントは第4ポイントにて指示。

第1ポイント(1CP)「伝える」

場所：代々木公園内 担当：*井口(13)、長谷川(13)

<ポイント概要>

班が到着したら、班を二つに別けて、ジェスチャーをする人と、それを答える人とに別ける。
50メートル程離れて、ジェスチャーを答えてもらう。ジェスチャーを解いた時間で得点を決める。

<スカウトの評価>

面白かったという意見が多かった。課題によってはむずかしかったようだ。

第2ポイント(2CP)「水を得る」

場所：代々木八幡境内 担当：*只野(14)、武田(9)、高橋(9VS)

<ポイント概要>

到着した班は、あらかじめ用意されている写真の中より”ろ過器”に適する正しい材料を選ぶ。(5pts)
次に、与えられた材料(3-5種)を組み合わせてろ過器を製作し、そこから得られる水の透明度でポイントが与えられる。(5pts)

<スカウトの評価>

クイズがわからなかった。ろ過するのは面白かったようである。

<指導者の評価>

スカウトにもためになる非常によいテーマだった。

第3ポイント(3CP)「救急」

場所：宮下公園南地区 担当：*蒔田(3)、蒔田(3VS)、浅井(3VS)

<ポイント概要>

班員1名が負傷者役となり、右手前腕からの出血、左足の頸骨が骨折の可能性あり、との想定で応急処置をして、安全な場所まで負傷者を運搬する。

<スカウトの評価>

このポイントを回った班は少なかった。なかなかためになったという意見が多かった。

第4ポイント(4CP)「冷静な判断」

場所：代々木公園駐車場トイレ周辺 担当：*柏木(5)、佐竹(5)、鈴木樹(5)

<ポイント概要>

1. スタート前にスカウトに緊急連絡が必要な場合開封せよ！と書いた封書を渡す。
2. ポイントには、緊急事態が発生したので、リーダーは急に移動しなくてはならなくなつた旨の看板を設置。
3. 2の文章を読んで、緊急の場合の連絡先へ連絡するまでの時間を評価

<スカウトの評価>

ポイントに指導者がいなかつたのでとまどつたようだった。ルールがよくわからなかつたなど、批判的な意見もあった。

第5ポイント(5CP)「ロープワーク・手旗」

場所：代々木公園内 担当：*池田(14)、福嶋(14)、三反田(14)

<ポイント概要> ロープか手旗のどちらかを選ぶ。

ロープ：10種類の結索をカードを渡し、約5分間の練習の後、結索を使ったリレーを行う。5分の制限時間内に結索がいくつできるかを競う。

手旗：原画の表を渡し、約5分間で覚えてもらう。リーダーが20桁の数字を手旗でうち、それを記録させる。

<スカウトの評価>

手旗の方がだいぶ簡単だったようである。

<指導者の評価>

手旗とロープワークは別のポイントにした方がよかったです。

第6ポイント(6CP)「地図とコンパス」

場所：代々木公園横断橋 担当：*吉田(9)、戸張(5)、山田(5)、鈴木伸(5)

<ポイント概要>

それまで隠してあった代々木公園内2つのポイントを座標で指示し、2つのポイントを通過して戻るまでの時間からポイントで費やした時間を差し引いた時間を評価の対象とする。

<スカウトの評価>

座標読みがわからなくて、教えてもらった班が多かったようである。

第7ポイント(7CP)「キムス」

場所：代々木公園織田フィールド駐車場 担当：*平賀(10)、北原(10)

<ポイント概要>

防災に関する小物24品によるキムスゲーム。解答は個人単位で行い、平均点で評価する。

<スカウトの評価>

一人一人書かせたことで、参加意識がもてたようである。リーダーの話が面白かったという意見が多かった。

第8ポイント(8CP)「防災クイズ」

場所：旧渋谷小学校体育館 担当：*木下(5)、近藤(10)、鹿浜(10VS)

<ポイント概要>

防災に関連した基礎知識を問うペーパーテスト、選択肢4択、20問

<スカウトの評価>

面白かったという意見がかなりあった。協力してやった班が多かった。

友情ゲーム

場所：旧渋谷小学校体育館 担当：*安海(14)、酒井(3)、牧野(3VS)

<ゲームの概要>

一人一人が名刺を10枚作る。時間を決めて相手にインタビューし、指導者の前で隣人紹介する。その際お互いに名刺を交換する。

<スカウトの評価>

たくさんの人と友達になれて楽しかった。話しかけられるようになるまでなかなか時間がかかったという意見も多かった。

ラリー全体の評価

<スカウトの評価>

・良かった点・・・楽しかった、面白かった、渋谷区の広さがわかった、など。

・悪かった点・・・寒かった、疲れた、時間が足りなかった、など。

<指導者の評価>

・良かった点・・・企画が良かった、毎年やりたい、など。

・悪かった点・・・時間が短くなかった、参加者が少なかった、など。

・帰着時刻が遅れたときのペナルティをどうするか、その他採点基準に関するここと。

・途中のポイントで暖かいものを用意しても良かった。

・セレモニーのやり方を統一し、練習することが必要。

<結論>

悪天候によるマイナス面を除くと概ね肯定的な評価であった。

中学生の出席率が悪かったので、実施時期は再検討した方がよい。

渋谷地区班対抗選手権'99 成績表

(実施期間：1999.10.16～2000.2.20)

第1位 渋谷 1団・ホークス班 (得点 63 点)

第2位 渋谷 10団・ウィリーキャッツ班 (得点 60 点)

第3位 渋谷 13団・ワシ班 (得点 54 点)

第3位 渋谷 14団・トナカイ班 (得点 53 点)

この4班の班員には、次回地区ラリーまで渋谷区優秀班ワッペンの着用を許可する。

団	班名	班員 総数	参加 者数	班集会 の実施		ラリー 出席数	ラリー 課題	合計	順位
				20点	10点				
1	ホークス	9	8	15	8	40	63	1	
10	ウィリーキャッツ	6	3	20	3	37	60	2	
13	ワシ	6	3	2	3	49	54	3	
14	トナカイ	7	2	10	2	41	53	*3	
9	シャーク	5	4	3	4	34	41	5	
6	ライオン	5	3	2	3	33	38	6	
5	ヤマバト	13	3	0	3	34	37	7	
5	トキ	15	2	0	2	31	33	8	
5	オオルリ	13	3	0	3	27	30	9	
5	ヤマセミ	13	3	0	3	25	28	10	
9	ワニ	5	3	3	3	22	28	10	
14	フクロウ	6	2	7	2	19	28	10	
6	タカ	5	3	2	3	16	21	13	
3	モンキー	5	3	0	3	17	20	14	
13	トラ	5	2	2	2	0	4	15	
10	ストロベリー フィールズ	4	0	-	-	-	-	16	
合計・平均		122	47	4.4	3.1	28.3	35.9	-	

*3, 4位は得点差が僅かなため、2班とも3位とした。

評価の基準

各班の評価は、班集会の実施、ラリーでの各ポイントにおける課題成績、ラリーへの出席率で決定する。

- 班集会の実施は1回につき5点。4回分20点までを限度とする。計画書・報告書が提出されなければそれぞれ2点減点とする。班集会は班員の1/4以上かつ2人以上参加のこと。
- ラリーの課題は8種目であり、その成績は1種目につき10点満点で採点する。
- ラリーの出席率は四捨五入して10点満点とする。出席者数に変更。
- 合計で110点満点で採点する。ラリー当日集計し、全班を順位付けする。

地区ラリー課題得点内訳

(2000.2.20 実施)

団	班名	課題番号								合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	
13	ワシ	8	5	0	8	10	6	5	7	49
14	トナカイ	7	0	0	5	6	10	6	7	41
1	ホークス	0	8	7	7	3	7	0	8	40
10	ウィリーキャッツ	7	0	7	0	7	7	4	5	37
5	ヤマバト	6	0	6	0	8	7	0	7	34
9	シャーク	0	3	5	5	10	3	0	8	34
6	ライオン	9	0	0	0	7	6	5	6	33
5	トキ	7	0	0	0	6	8	4	6	31
5	オオルリ	0	7	0	7	0	0	4	9	27
5	ヤマセミ	0	5	0	8	0	0	5	7	25
9	ワニ	0	2	0	3	0	5	4	8	22
14	フクロウ	0	1	0	5	0	0	6	7	19
3	モンキー	0	3	0	7	0	0	0	7	17
6	タ力	0	4	0	0	0	2	3	7	16
13	トラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	ストロベリー フィールズ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均 (班数)		7.3 (6)	4.2 (9)	6.3 (4)	6.1 (9)	7.1 (8)	6.1 (10)	4.6 (10)		30.4 (14)

課題番号	内容	採点担当者	配点
1	伝える	井口(13)	各 10 点 満点
2	水を得る	只野(14)	
3	救急	蒔田(3)	
4	冷静な判断	柏木(5)	
5	ロープワーク・手旗	池田(14)	
6	地図とコンパス	吉田(9)	
7	キムス	平賀(10)	
8	防災クイズ	木下(5)	

講評

- 1位になったホークス班は出席率も非常によく、中2が3人もいたことがよい結果につながった。ただ、計画書・報告書の内容にはまだまだ改善の余地がある。
- 他の3班も中学生が多くなったことが活躍できた原因であろう。10団、13団、14団は班編成を直前に変更したようだが、班制度の精神からいえば、同じ班を継続していくことが大切である。
- ラリーではワシ班が最高点であった。
- 班集会を全く開いていない団があった。自分たちで計画して集会を開かなければ、班制度の精神を実現することは不可能であると思う。
- 渋谷地区的レベルはけっして高くない。各班とも、来年度はより高いレベルを目指してほしい。
(木下)

基本構想と準備日程

渋谷地区班対抗選手権大会 99 基本構想（案 1999.7）

目的

地区内では、隊員数の減少または出席率の低下により、班制度が十分な形で実施できなくなっている団が多い。スカウトの班意識の高揚と技能向上を目指して、1ヶ月にわたって地区大会を行い、スカウト活動を活性化するきっかけとする。

地区大会の方針

1. 地区 G B T と地区ラリーを合わせて、1ヶ月分のプロクラムのサイクルを地区全体で合同で行う。
2. 技能テーマを円卓会で決定し、各班は参加エントリーを行う。班紹介のため班名図鑑を編集する。
3. 地区 G B T を行い、技能テーマに基づく訓練、G B としての指導力の訓練を行う。G B によるプログラム会議を行い、意見を取り入れるとともに互いの友好を深める。
4. 各班（つまり各団）で班集会を 2 - 3 回開く。計画書・報告書の提出によりポイントとなる。
5. 区民の広場など、奉仕活動への参加もポイントとする。
6. 地区ラリーを行い、班対抗競技の中で各班の活動・訓練の成果を発揮させる。スカウト全員が能力を発揮できるように工夫し、成績に応じてポイントを与える。
7. 1ヶ月分の班競争のポイントを集計し、地区最優秀班、優秀班を決定して表彰するとともに、全参加班の成績を公表する。
8. 地区最優秀班のワッペンを 1年間つけるなど、スカウトのプライドを刺激する賞品を考える。

今年度の準備日程

日程	集会名	出席	内容
7/ 1	地区円卓会	10	基本構想提出、日程決定（G B T 10.16-17、ラリー 11.23）
9/ 2	地区円卓会	9	地区 G B T、ラリー場所検討
9/11	企画委員会	4	地区 G B T 下見（子供の国）
10/ 7	地区円卓会	10	地区 G B T 打ち合わせ、参加エントリー締切、地区ラリー延期
10/13	企画委員会	4	地区 G B T 荷物積み込み
10/16-17	地区 G B T (S 11)	12	（子供の国）技能訓練、指導力訓練
11/ 4	地区円卓会	7	地区ラリー企画、企画委員会設立
11/10	企画委員会	8	電話会議(1)、地区ラリー企画
11/13	企画委員会	メーリングリスト開設	
11/18	企画委員会	8	電話会議(2)、地区ラリー企画
12/ 2	地区円卓会	12	地区ラリー企画
12/ 9	企画委員会	9	電話会議(3)、地区ラリー企画
12/14	企画委員会	8	電話会議(4)、地区ラリー企画
12/31	明治神宮初詣奉仕	班名図鑑暫定版配布	
2/ 3	地区円卓会	14	地区ラリー企画
2/ 9	企画委員会	11	電話会議(5)、地区ラリー企画
2/10	企画委員会	8	地区ラリーアンダーカー（渋谷区内）
2/12	企画委員会	3	班名図鑑最終版作成
2/16	企画委員会	11	電話会議(6)、地区ラリー企画
2/20	地区ラリー (V 5) (S 47)	26	（渋谷区内）班対抗競技、地区最優秀班表彰
3/ 2	地区円卓会		反省会